

施策評価調書

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	11 健やかに産み育てられる環境の整備		
施策	01 母子保健の推進		
内容	【現状】 少子化・核家族化の傾向は続いており、子育て家庭の経済的・精神的支援とともに、子育てを社会全体で支えあう環境の整備が求められている。 そのなかで、健やかに産み育てる環境を整え、妊産婦・乳幼児の健康の確保、子育て親子の交流、育児不安の軽減を図るとともに、関係機関と連携しながら子育て支援を行う。また、予防接種により疾病予防につなげる。		
	【課題】 子育て家庭の価値観の多様化や要望等にも配慮しながら、子育て支援に取り組む必要があるが、これらの事業の多くは、国・県の施策によるところが大きく、その動向を踏まえて町としての施策を考える必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
70 母子保健事業	健康福祉課 健康係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 :	
○妊産婦の健康管理の充実（母子健康手帳交付時、妊婦教室、赤ちゃん訪問等での健康相談） ○乳幼児健診の充実と個別に合わせた乳幼児の保健指導、健康相談 ○健やかな生活リズムの確立のための育児、食育学習の継続実施		妊産婦・乳幼児ともにきめ細かな支援が必要なケースが増加しており、関係機関と連携しながら切れ目のない支援が求められている。また、法定化された「母子健康包括支援センター」の設置により一層充実強化を図って行く必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
72 特定不妊治療費助成事業	健康福祉課 健康係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】		【所見】 :	
○特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）の周知 ○費用助成の継続		男性不妊治療への助成開始や初回治療者に対する助成額の増など事業の拡充を図ってきた。今後も事業を継続していく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取組】		【所見】 :	

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	11 健やかに産み育てられる環境の整備	
施策	02 ゆとりある子育て環境の整備	
内容	<p>【現状】 少子化が進むなか、子育てしやすい環境をつくることが求められ、就学前乳幼児及び小中学校の児童・生徒の健やかな成長と子育て支援を行うにあたり公平かつ適正な制度運用を図っていく必要がある。 医療給付については、平成23年度から小中学生の通院も対象として拡大したことから、中学生までの子を持つ保護者にとって、医療費の自己負担に対する助成という側面からの子育て支援は、一定の役割を果たしていると思われる。</p> <p>【課題】 子育て支援事業を通して、子育て先輩ママから新米ママへの指導や、育児サークル化への発展も視野に入れた事業の実施が求められる。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
07 子育て交流施設整備事業	健康福祉課 子育て支援施設整備係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○子育て交流施設の建設		計画通り造成工事を終えた。今後の施設建設工事についても、令和2年夏のオープンに向け、着実な工程管理を行う必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 子育て支援センター事業	健康福祉課 保育園係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○子育て支援専門員の配置 ○育児不安等に対する相談指導 ○子育て情報の提供 ○子育て交流事業の開催		子育て支援として、親子の交流の場の提供や子育てサークル支援、子育て相談、子育て講演会を実施し、育児不安の軽減に努めた。今後も子育てに関する専門的な支援を行う拠点となるよう事業実施していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
72 子育て支援事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○出産祝金の支給		住宅団地やアパートへ転入する若い世帯が増加してきており、転入後に出産するケースが増加したことから、出生総数は微増傾向にある。今後も、子育てにかかる経済的支援の観点から、継続した支援が必要である。

【事業】 73 子育て支援医療給付事業	【所管】 町民課 国保係	【評価結果】： A. 達成できている
【取組】 ○就学前乳幼児及び小・中学生の医療給付（扶助）		【今後の方向性】： 2. 現状維持 【所見】： 医療給付費の自己負担に対する助成という側面からの子育て支援は、子育て環境の充実を図るうえで重要な事業であり、一定の成果が得られている。 今後は近隣市町の動向を注視しながら、対象年齢の拡大について検討する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】：
【取組】		【所見】：
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】：
【取組】		【所見】：
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】：
【取組】		【所見】：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	12 たくましく、確かな知識と個性豊かな魅力ある人材の育成		
施策	01 生きる力を育む学校教育の推進		
内容	【現状】 ○確実な学力習得に対する支援 ○多様な教育課題への対応 ○保・幼・小・中の連携と一貫性のある教育の推進 ○安全、安心な教育環境の整備 「知・徳・体」の調和のとれた学校教育により、生きる力を培うことが求められている。 ※平成24年度で三川中学校改築事業は完了し、すべての教育環境が整った。		
	【課題】 習熟度に応じた学習指導体制や障害の程度や発達段階に応じた特別支援教育体制を整えることにより、「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進することが課題となっている。 また、増えつつある軽度発達障害を抱える児童生徒に対しては、個別的な対応支援が必要な状況にある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 保育園感性情操教育推進事業	健康福祉課 保育園係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○保育園における芸術文化体験事業の継続的な実施	感性・情操を豊かにするためには、長い時間をかけて育成する必要があり、幼稚園・学校教育へと継続していくものであるため、引き続き事業を行っていく必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
72 外国語活動推進事業	教育委員会 教育課 学校教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○英語指導助手、英語指導員の配置	幼児・学童期にネイティブスピーカーとの会話を経験することは非常によい体験である。また、児童・生徒の英語に関する関心と授業における積極性向上に関して、英語指導員の貢献を高く評価している。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
73 育英奨学資金造成事業	教育委員会 教育課 学校教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○育英奨学資金貸付に充てるための安定的かつ確実な基金運用と基金への造成	家庭の経済的な理由により進学が困難な学生を支援するため、基金を造成して無利子貸付を行っている。貸付を受けている学生の保護者から高い評価を受けており、事業を継続していく必要がある。		

【事業】 74 教育課題研究推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○教育課題の解決と児童・生徒の学力向上に向けた調査研究業務の委託（委託先：三川町教育研究所）		【所見】 ： 児童一人ひとりへの個別の支援指導が求められているなか、様々な教育課題がある。それらの課題解決には保幼小中学校等の連携が不可欠であり、事業を継続していく必要がある。
【事業】 75 特別支援教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校支援員（3人）、個別指導支援員（1人）、特別支援教育等支援員（1人）、特別支援学級支援員（3人）の配置 ○教職員及び保護者への指導・助言		【所見】 ： 特別な支援を必要とする児童・生徒の視点に立ち、個々のニーズを的確に把握することにより、適切な指導と必要な支援を総合的に推進している。対象人員等に合わせ支援員等の配置を調整する必要がある。
【事業】 76 小学校施設等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○年次的な校舎施設の改修整備 ○大規模改修に向けた計画の作成		【所見】 ： 学校施設の状況を定期的に確認しながら、状況に合わせて適切な時期に修繕または改修整備を行っていく。
【事業】 78 小学校教育振興費・教育機器等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学習教材・情報教育機器等の整備（※教材備品等）		【所見】 ： 学校と連携を密にしながら要望内容を精査して予算の範囲内で教育機器整備を進めている。今後も、教育環境の状況に合わせて、教育機器の導入、更新を実施していく必要がある。
【事業】 79 学校教育支援員設置事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校教育支援員（各小学校1名）の設置によるチームティーチング指導と少人数指導 ○軽度な発達障害を抱える児童・生徒の学習支援		【所見】 ： 学級担任と学校教育支援員による少人数授業やTT指導により個に応じたきめ細かな指導を継続していく必要がある。また、軽度の発達障害を抱える児童が増えているため、学校教育支援員を活用した通常学級における特別な教育的指導や支援の継続が求められている。
【事業】 80 小学校感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○小学校における芸術文化体験事業の実施		【所見】 ： 3校合同の音楽鑑賞教室を行うなど効率的な事業執行を行っている。児童の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけて育成しなければならないことから、今後も事業を継続していく必要がある。

【事業】 81 小学校図書整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校図書の購入・整備		【所見】 ： 児童の豊かな心を育み、読解力を養うためには数多くの読書が必要であり、そのために子供達が関心を持つ図書を整備することが必要である。今後とも文部科学省の分類基準に基づいた偏りのない図書整備を継続する必要がある。
【事業】 83 中学校教育振興費・教育機器等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学習教材・情報教育機器等の整備（※教材備品等）		【所見】 ： 学校との連携を密にしなが重要内容の精査をして予算の範囲内で教育機器整備を行っている。今後も、教育環境の状況に合わせて、教育機器の導入、更新を実施していく。
【事業】 84 中学校図書整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校図書の購入・整備		【所見】 ： 生徒の豊かな心を育み、読解力を養うためには数多くの読書が必要であり、そのために生徒が関心を持つ図書を整備することが必要である。今後とも文部科学省の分類基準に基づいた偏りのない図書整備を継続する必要がある。
【事業】 85 中学校通学バス支援事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○三川中学校冬季通学バス運行委員会が運行する通学バスの運行費用に対する助成		【所見】 ： 保護者で組織する冬季通学バス運行委員会の通学バスは、自転車通学生徒の冬季間の安全確保のためには効果的な事業である。貸切バスに関する法改正に伴い、運行経費が増嵩しているため、受益者負担の割合等を勘案しながら運行委員会に対する支援を継続していく必要がある。
【事業】 86 学力向上対策事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町主催の小学生を対象とした学習会の開催 ○家庭学習充実のための、個の能力等に合わせたプリント学習の推進 ○中学生を対象とした英検実力テストの実施		【所見】 ： 希望者に対し学習会を開催しており、個々の学習意欲向上に一定の成果があった。新たに中学2,3年生を対象に英語実力テストを実施した。今後は、学校全体の学力向上につながるよう、学習会や英検実力テストの内容や対象者を検討しながら事業を継続していく必要がある。
【事業】 88 中学校感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○中学校における芸術文化体験事業の実施		【所見】 ： 生徒の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけなければならないことから、今後も事業を継続していく必要がある。

【事業】 91 幼稚園感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】： B. 概ね達成できている
【取組】 ○幼稚園における芸術文化体験事業の継続的な実施		【今後の方向性】： 2. 現状維持 【所見】： 感性・情操を豊かにするためには、長い時間をかけて育成する必要があり、学校教育へと継続することで効果が期待できるものであるため、引き続き事業を行うことが必要である。
【事業】 94 教育施設整備基金造成事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】： A. 達成できている
【取組】 ○計画的に基金造成を行うことによる大規模改修事業の財源確保		【今後の方向性】： 2. 現状維持 【所見】： 町の一般財源を軽減しながら教育施設整備事業を円滑に推進するため、基金造成を行っている。今後の教育施設整備の状況に合わせ基金の造成を行っていく必要がある。
【事業】 95 幼児施設等改修事業	【所管】 健康福祉課 保育園係	【評価結果】： A. 達成できている
【取組】 ○みかわ保育園・幼稚園への防犯カメラの設置		【今後の方向性】： 1. 事業完了による終了 【所見】： 防犯カメラの設置工事について、施設職員と調整しながら進め、計画どおり完了させることができた。
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】： 【所見】：
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】： 【所見】：
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】： 【所見】：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	12 たくましく、確かな知識と個性豊かな魅力ある人材の育成	
施策	02 地域との連携による教育力の向上	
内容	<p>【現状】 出生率の低下に伴い乳幼児は年々減少しており、同級生となる子どもがいないなど地域における環境は変化している。また、人口の増減に比して世帯数は増えており、放課後の子ども達を取り巻く状況は、地域の大人と子どもとの繋がりが低下しており、それに伴う子どもの社会力や地域力が低下している現状にある。</p> <p>【課題】 共働きや核家族化など、集落内だけでは、解決できない問題があることから、コンパクトな行政規模であることを活かした事業展開が必要である。 公民館事業のうち、子育て支援センターと似たような事業にならないよう、相互の連携が必要である。 また、学童保育については、利用児童数の増加に伴うハード面の整備も課題となっている。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 放課後子ども教室推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○体験教室「わくわく体験塾」 ○学校開放事業（地域との連携） ○町内会居場所づくり（地域との連携） ○アトク寺子屋教室（地域との連携）		地域の教育力の活用及び活性化を図るとともに、体験活動や異年齢交流を通し、子ども達の生きる力を育成する事業として実施している。 わくわく体験塾、学校開放事業については、参加者も増加している状況であり、継続した取り組みが必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
72 学童保育支援事業	健康福祉課 保育園係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○学童保育所の活動場所の提供と施設の維持管理 ○学童保育を実施する運営協議会への助成と、保護者負担の軽減 ○学童保育所指導員の処遇改善		子育て支援として、親子の交流の場の提供や子育てサークル支援、子育て相談、子育て講演会を実施し、育児不安の軽減に努めた。今後も子育てに関する専門的な支援を行う拠点となるよう事業実施していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策	02 健康づくりの推進	
内容	<p>【現状】 町民の健康の保持増進を図るための生活習慣病対策や心の健康づくり等への取り組みを行っている。また、各種検診の受診率向上や、健康教室等の参加者増に向けて、住民の理解を得ながら、今後とも各種機関・団体等と連携しながら健康づくりに取り組む必要がある。</p> <p>【課題】 国の方針で、平成21年より特定年齢に対する検診費用の無料化が進められていることから、一層の受診率向上に努めなければならない。また、各種教室（健康教育）や健康相談においては、内容の工夫とともに、住民がより参加しやすい方法を模索していく必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 健康増進事業	健康福祉課 健康係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】	【所見】 :	
○健康マイレージチャレンジ事業や体組成計の活用等による健康づくり活動への関心を高める。 ○がん検診及び精密検査の受診率向上に向けた取り組み。 ○健診後の保健指導の充実や糖尿病重症化予防プログラム等により健康的な生活習慣の実践につなげる。	健康マイレージチャレンジ事業や体組成計の活用による町民の健康づくり活動への関心が高まっていること、健康づくり自主グループが拡大・継続している状況にあることから、継続的に支援を行っていく。また、がん検診要請検者の100%受診に向けて、今後も継続して受診率向上に向けた取り組みが必要である。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】	【所見】 :	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】	【所見】 :	

平成30年度 施策評価調査書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策	03 高齢者福祉の充実	
内容	【現状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯も増加する中、高齢者が自らの健康の保持増進に積極的に取り組み、自立した生活を送れるような生きがいがいづくりに取り組んでいる。	
	【課題】 高齢者が孤立することなく、住み慣れた地域の中で生きがいをもって安心して暮らすことができるよう地域・関係機関団体・行政が連携しながら事業推進していく必要がある。寿賀のつどいへの参加は目標の4割を維持できている一方で、年々老人クラブへの加入率が低下していることが懸念される。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
70 在宅介護支援事業（老人福祉費）	健康福祉課 介護支援係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 : 介護人手当は、居宅において寝たきりの者等を介護している方に対する経済的・精神的負担軽減策として支給しており、今後とも継続した支援が必要である。
【取組】		
○介護人手当の支給		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
71 社会福祉法人等支援事業（老人福祉費）	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 : 常時介護の必要な認知症等の高齢者は、今後も増加することが見込まれることから、老人福祉の向上を図るべく、特別養護老人ホームの安定した運営のため、継続した支援が必要である。
【取組】		
○社会福祉法人の施設運営及び改築に対する支援		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
72 寿賀敬老事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 : 寿賀敬老事業は、長年にわたり地域社会の発展に貢献された高齢者の労をねぎらうとともに、長寿を祝う事業として実施している。今後、「寿賀のつどい」については、開催時期を検討しつつも、継続して開催する必要がある。
【取組】		
○寿賀のつどいの開催 ○最高齢者、歳祝該当者、金婚者への賀詞等の贈呈 ○長寿祝金等の贈呈		

【事業】 73 高齢者地域活動支援事業	【所管】 健康福祉課 福祉係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○老人クラブ活動の支援		【所見】 ： 単位老人クラブ数や老人クラブの会員数が年々減少しているものの、老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活動は、高齢者相互の交流や生きがいづくり、健康体力づくり等に寄与しているところが多く、継続した支援が必要である。
【事業】 74 高齢者就業機会確保事業	【所管】 健康福祉課 福祉係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○シルバー人材センターへの指導、運営に対する補助金交付		【所見】 ： 高齢者の経験や技術を活かし、社会とのつながりを持つことにより、生きがいややりがいを感じる機会の創出に有効なため、高齢者の就業機会を確保する機関の安定運営のため、今後とも継続した支援が必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策	05 障害者福祉の充実	
内容	<p>【現状】 現代社会において、ノーマライゼーションの理念は浸透しつつあるものの、道路、建物等における物理的障壁のみならず、資格制限等制度や意識面での障壁など、さまざまな障壁があるのが現実である。 障害者総合支援法による障害福祉サービス及び町独自の障害者施策によるサービスの提供を行っているところである。</p> <p>【課題】 ノーマライゼーションの理念を浸透するべく、日ごろからの啓発活動に努め、制度の周知や相談支援の充実に努める必要がある。 障害者あるいは、その家族が抱える課題をもとに適切な障害者福祉サービスの提供が求められる。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
70 在宅介護支援事業（障害者福祉費）	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】	【所見】 :	
<input type="checkbox"/> 介護人手当ての支給 <input type="checkbox"/> 障害者に対するおむつの支給 <input type="checkbox"/> 在宅酸素療法者に対する電気料金の一部の助成	事業対象者は、恒常的に介護が必要な障害者又はその家族である。対象者の経済的・精神的な負担軽減のために支給しており、今後とも継続した支援が必要である。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 身体障害者等社会参加・通院支援事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】	【所見】 :	
<input type="checkbox"/> 障害者支援施設等通所交通費助成 <input type="checkbox"/> 重度身体障害者自動車用燃料費助成 <input type="checkbox"/> 心身障害者福祉タクシー利用扶助 <input type="checkbox"/> 人工透析患者通院交通費助成 <input type="checkbox"/> 障害児自動車用燃料費助成	在宅で生活する障害者（児）を経済的に支援等することにより、自立と社会参加の促進が図られている。今後、より効果的な施策を検討しつつ、支援の維持を図っていく。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
72 社会福祉法人等支援事業（障害者福祉費）	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】	【所見】 :	
<input type="checkbox"/> 福祉団体（身体障害者福祉協会）の活動に対する支援	障害者相互の交流、社会参加の促進を目的に支援している。会員の減少と役員の担い手不足にならないように支援継続と併せ、団体を所管する社会福祉協議会と連携して団体活動の活性化を促していく必要がある。	

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策	06 援助を必要とする個人や家族の自立支援	
内容	<p>【現状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中、高齢者が健康で自立した生活を送れるようサービス提供を行っている。</p> <p>【課題】 高齢者が住みなれた地域で健康で安心した生活を送るためには、家庭・地域・関係機関団体及び行政が連携して行う必要がある。 地域包括支援センターや民生委員等との連携により対象者の把握に努めながら、高齢者に対する細やかな生活支援を推進していく必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
70 社会福祉法人等支援事業（社会福祉総務費）	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】	【所見】 ：	
○福祉団体等（ボランティア連絡協議会、遺族会、社会福祉協議会）の活動に対する支援	団体の設立目的に沿った活動に対し支援しており、今後も地域福祉の推進に不可欠な団体の安定運営のために社会福祉協議会と連携しながら、支援を継続する必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： C. あまり達成できていない
71 生活支援事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 ：4. 一部改善策が必要
【取組】	【所見】 ：	
○寝具洗濯乾燥等に係る費用の助成 ○緊急通報システム事業への助成 ○訪問理美容に係る費用の助成	今後も支援の継続と併せて、町広報の活用、民生児童委員による周知等により利用促進を図っていく必要がある。なお、制度の活用推進に向けて検討を要する。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】	【所見】 ：	

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現		
施策	01 自主活動につながる社会教育の推進		
内容	【現状】 生涯学習活動を通じて、それぞれの年代毎に事業を実施し、自主活動に結び付けることを目的としている。団体活動等については、行政側が事務局を担わざるを得ない状況である。		
	【課題】 事業の詳細については毎年少しずつ変化をつけているものの、マンネリ化と言われている。社会教育にとって継続しなければならない事業もあるが、事業展開をする上では、スクラップアンドビルドを意識しながら、今後検討しなければならない。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
70 公民館図書整備事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○図書室の環境整備 ○図書だより「ぼかぼか」の発行 ○県立図書館との連携	地域住民のニーズに対応した図書の購入や、幼児対象事業終了後に図書室で読み聞かせを行う等、施設の有効活用に努めている。今後も図書だよりの発行を通じて情報を発信し、貸出増加に繋げていく必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 社会教育団体等活動推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○各種団体等の支援 ・芸術文化協会 ・PTA連合会 ・公民館主事協議会 ・子ども会育成会連絡協議会 ・中高生ボランティアサークル来夢来人 ・青友 ・青少年少女発明クラブ ○全国大会等出場者への支援	団体ごとに芸術文化活動を進めており、引き続き会員増加や、ボランティア活動の人材育成を行っていく必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
72 成人式開催事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○成人式式典の主催 ○成人のつどいの開催支援	実行委員を中心に企画・運営し、円滑に遂行されている。青年団体の取り組みをチラシで成人者に紹介するなど、今後も継続して支援する必要がある。		

【事業】 73 生涯学習活動実践事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町民講座の開催 ○家庭教育連携事業の主催及び共催 ○ブックスタート事業の開催 ○菜の花大学（高齢者教育）の開催		【所見】 ： 町民講座について、町民等から興味を持って参加してもらうため内容の工夫等を行い、計画より大幅に多い参加をいただいている。今後も自主活動を支援し、生涯にわたって学習する機会の充実を図っていく必要がある。
【事業】 74 青少年自然体験事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○フェスティバルざっこしめの開催		【所見】 ： 夏のイベントとして定着しており、親子での参加も多く好評である。社会教育関係団体からの協力が必要であるため、今後も継続して連携を図っていく必要がある。
【事業】 75 町内会公民館等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町内会公民館等整備費補助金交付規則に基づく町内会公民館整備に対する助成 ○新築又は改築（一部改築を除く）に対する助成額は、対象経費の1/3以内の額（限度額500万円） ○一部改築、及び修繕工事に対する助成額は、1件50万以上とし、対象経費の1/3以内の額（限度額100万円）		【所見】 ： 本事業については、町内会長会議で毎年事業周知及び事業要望を取りまとめを行っている。 地域公民館の維持管理の観点から今後も継続して支援を行っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現		
施策	02 スポーツ・レクリエーションの振興		
内容	【現状】 関係団体を育成支援し、スポーツを楽しむ環境を作り、町民及び会員等の体力・運動能力の維持向上を図ることを目的に取り組んでいるが、スポーツと健康との関わりで、ウォーキングなど軽スポーツを楽しむ人が増えているものの、それが町等が企画する事業の参加に必ずしも繋がっていない現状がある。		
	【課題】 体育協会については、構成団体の活動の停滞化が進んでいること、スポーツ少年団については、少子化や競技種目参加の片寄りがみられること、スポーツクラブについては、今後も安定的に会員を増やすための施策が必要となっていることから、今後の方向性の検討とクラブの財源確保が必要である。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
70 社会体育団体等活動推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○各種団体等の支援 ・体育協会 ・スポーツ少年団 ・みかわスポーツクラブ	社会体育関係団体が連携を図り、スポーツ総合開会式や町民体育祭を実施した。今後も団体等の活動を支援する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 生涯スポーツ推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 :		
○町民運動会、町民体育祭の開催 ○指導者等の大会参加助成 ○東北大会、全国大会参加助成	社会教育団体指導者等大会参加助成金は、スポーツ三川等を通して広く紹介している。一方で、町民体育祭は社会体育関係団体が連携して実施し、スポーツ振興を図っているが、町内会からの参加が少なく、新競技や運営方法等の見直し、及び参加募集方法等を検討する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
72 社会体育施設整備事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○町民体育館、町民運動場、アスレなの花、豊秋テニスコートの維持管理	現時点で施設は大きな不具合の発生もなく安定的な運営が行われている。 アスレなの花については、大規模改修の実施に向けて事業を継続的に進めていく必要がある。		

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現		
施策	03 芸術文化の育成・継承・活用		
内容	【現状】 文化財保護については、あまり変化が見られない。芸術文化祭については、地域文化の発展に資することを目的に「みかわ秋まつり」を毎年盛大に開催している。		
	【課題】 毎年、みかわ秋まつりに出展される方々が高齢化し、新規の出品者もあまり増加しないことから、出展数が減少している傾向にある。 住民の芸術文化活動を通じた自主活動を進めていくには、新たな協力者など、将来的にも継続できるような形を模索していかなければならない。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
70 文化財保護保存事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】	【所見】 ：		
○文化財保護審議会の開催 ○文化財等の保護・保存	文化財保護については、地区ごとに巡回点検を実施して、保存状況の確認等を行い保全に努めている。 今後も文化財の掘り起こしを含めて事業を継続していく必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
71 芸術文化祭事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】	【所見】 ：		
○みかわ秋まつり ○町民音楽会	町民の学習・活動発表の場として定着しており、出品者、来場者からは高い評価を得ている。町民体育館の特別展示は知名度のある方のイベント企画により非常に好評を得ることができた。今後も出品者、来場者の増加に向け工夫を図る必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
72 文化交流館事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】	【所見】 ：		
○春の野草を観る会 ○みかわ秋まつり（特別展） ○雛人形展 ○展示室への展示 ○アトクすまいるライブ	特色ある施設利用として実施している「アトクすまいるライブ」は参加者の要望に応え、日中開催として好評を得ている。今後も魅力ある事業実施に努め、施設の利活用拡大を図っていく必要がある。		

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	15 豊かな自然環境の保全		
施策	01 資源循環型社会の構築		
内容	<p>【現状】 限られた資源を大切にする資源循環型社会の構築を図るためには、ごみの適正処理や減量化、さらには、廃棄物の再資源化など、資源の有効活用が求められている。協働推進会議等でも、地球温暖化防止やごみ処理量の削減、ごみの適正分別については、住民の関心も高くその重要性について浸透しつつある。 しかし、全町民からの理解と協力を得るところまでは至っておらず、より具体的な削減方法の周知と効果的な啓発方法を調査検討していくことが必要である。</p> <p>【課題】 リサイクルの推進やごみの減量化に取り組む住民も増えつつはあるものの、全町民からの理解と協力を得るところまでには至っておらず、取り組みの継続と効果的な啓発方法について検討する必要がある。また、一般廃棄物の処理については、ごみステーション数の増加が課題である。 その他県内で増加しているごみ処理の有料化についても鶴岡市とともに調査研究していく必要がある。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
70 ごみ減量化等促進対策事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 :		
○資源リサイクルステーションの管理 ○ノーレジ袋、マイバッグ持参運動の展開 ○町内会等における資源回収の支援 ○生ごみ処理機の購入に対する支援 ○住民参加型空き缶回収システムの実施 ○生ごみ処理実証試験の継続	生ごみ実証試験事業等により、ごみの減量化や資源化を一層推進するとともに、令和2年度に改訂作業を予定している次期三川町一般廃棄物処理計画で、ごみ減量化対策を総合的に見直す必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 廃棄物処理事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 :		
○ごみ収集運搬業務の委託 ○一般廃棄物処理業務の委託 ○ごみ収集車の維持管理 ○ごみの適正分別等の啓発活動	ごみ収集量は、その年度により、微減や微増を繰り返している。ごみ排出量の削減が進んでいない理由としては、水分を多く含む生ごみが入っていることが考えられる。引き続き家庭系ごみを減量するための取り組みを推進する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取組】	【所見】 :		

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	15 豊かな自然環境の保全	
施策	02 親しまれ愛される自然環境の保全	
内容	【現状】 森林は、洪水・濁水の緩和、土砂流出や地球温暖化の防止など様々な働きを持ち、私たちに多くの恵みをもたらしている。しかし、木材価格の低迷や農山村地域の過疎化、化石燃料に依存した生活様式の変化などから、林業離れや人と森との関わりの希薄化が進み、手入れの行き届かない森林が増加し、森林全体の公益的機能を維持・保全することが困難になっている。	
	【課題】 森・川・海をつなぐ水環境や森林等の自然環境を維持していくためにも、森林の公益的機能を回復・保全する取り組みを引き続き継続する必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
70 みどり環境推進事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○やまがた緑環境税を原資とし、森林保全の重要性を周知する活動や森林機能の回復や郷土保全を図る活動 ○県産材（森林資源）を活用した事業の実施と広く町民を対象にした環境や森林に対する学習機会の提供		森林の公益的機能の保全は、住民生活に恩恵をもたらすことから、地域住民を対象とした環境や森林に対する意識の高揚や啓発活動を続けていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	15 豊かな自然環境の保全		
施策	03 限られた資源の有効利用		
内容	<p>【現状】 地球温暖化防止対策の推進は、全世界的な課題であり、各地域での取組みの重要性が増している。さらに東日本大震災以降の電力不足に対する節電のためにも本事業の重要性が増してきている。その根本となる温室効果ガスの排出抑制等について、グリーンカーテンを設置することにより、電気使用量抑制の実践活動と、来庁者への啓発活動、循環型社会の構築など、地球温暖化防止に対する抑制と啓発につながる。</p>		
	<p>【課題】 地球温暖化防止の必要性について、さまざまな啓発活動を行いながら豊かな自然環境を保全する取り組みについて、町民それぞれの立場の中で実践できるように継続的に情報提供を行う必要がある。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
70 地球温暖化防止推進事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○三川町地球温暖化対策地域協議会による啓発活動への支援 ○ゴーヤ栽培によるグリーンカーテン設置（町内の公共施設等） ○ゴミ減量化を含めた地球温暖化防止の出前講座やイベント開催時の啓発活動	地球温暖化対策地域協議会の活動の支援を充実しながら、ゴーヤ苗の無料配付の取り組み等により、温室効果ガス削減の必要性等、広く町民に周知していく必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取組】	【所見】 :		
【事業】	【所管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取組】	【所見】 :		

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	16 魅力的な居住空間の創造	
施策	01 快適で利便性の高い居住環境の整備	
内容	【現状】 人口の減少が進むなか、定住人口の増加を目指して住宅建設費補助を行うことにより、町内建設業等の振興と定住人口の増加が図られている。	
	【課題】 平成23年度から実施している「山形県住宅リフォーム総合支援事業」との整合性を図る必要がある。さらに、安全・安心な生活空間確保を図るため、既存住宅の建替え、建設、新築・中古住宅の購入促進施策を一層推進していかなければならない。	
【外部評価結果】 1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所見】	
【事業】 71 住まいづくり支援事業	【所管】 建設環境課 環境整備係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○町内に定住を目的とした住宅建設工事、新築及び中古住宅の所有者の取得費に対する補助金の交付 ○住宅リフォーム工事費に対する補助金の交付 ○木造住宅の耐震改修工事費に対する補助金の交付	【所見】 ： 住まいづくり支援事業の制度に対する町民の需要が高くなっているため、積極的な周知活動を行い、制度の活用を推進していく必要がある。	
【事業】 72 移住定住促進事業	【所管】 建設環境課 環境整備係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○町外から町内に定住を目的とした住宅建設、新築及び中古住宅の所有者に対する補助金の交付	【所見】 ： 補助金の交付件数は増加傾向にある。定住促進並びに地域経済の活性化に寄与するため、移住者を増やすことについて取り組む必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】	【所見】 ：	

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	16 魅力的な居住空間の創造	
施策	02 魅力ある公園や緑地の整備	
内容	<p>【現状】 河川緑地内に舗装整備された通路や駐車場がないうえ、水飲み場や清潔なトイレ等の設備がない。また、河川増水時に安全に避難するための誘導看板等が不足している。</p> <p>【課題】 町民等来訪者が利用できる水飲み場や清潔なトイレの設置が必要である。また、安全で魅力的な公園にするため、河川緑地内及び公園内の通路、坂路、案内・誘導看板等の整備が必要である。 また、施設の適切な維持管理体制の確立が必要とされている。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
71 かわまちづくり整備事業	建設環境課 建設係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】	【所見】 ：	
○赤川河川緑地ふれあい広場への多目的広場や運動施設、散策路等の公園施設	赤川河川緑地ふれあい広場について、憩いや健康づくり、レクリエーションの場などに活用できる公園施設の整備を促進するとともに、地域の文化施設や商業施設等との連携を図りながら交流人口の拡大にもつなげていく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】	【所見】 ：	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】	【所見】 ：	

平成30年度 施策評価調査

基本目標 (政策)	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備		
施策	01 交通網の充実		
内容	【現状】 本町のみならず庄内全域の発展に資する高速交通網の整備や高齢者等の交通弱者の生活交通手段の確保を図る必要がある。その中で、日沿道の整備については、新潟・秋田の両県境区間が都市計画段階評価の対象となり、大きく前進している。 町内を運行するデマンド型乗合タクシーは、登録者は増えているものの、利用者が減少傾向にある。		
	【課題】 日沿道をはじめとする高速交通網の早期着工については、引き続き関係自治体や地域の住民・企業等と連携して、一層の要望活動を展開する必要がある。 デマンド型交通システムについては、大幅な利用者数の落ち込みに対し、利用者ニーズに対応した事業展開を図らなければいけない。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C. あまり達成できていない	
70 高速交通網整備促進対策事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 :		
○日本海沿岸東北自動車道をはじめとする高速道路等の整備促進に向けた要望活動 ○庄内空港の利用振興のためのANA等への要望活動、並びに広報活動 ○羽越新幹線の実現及び建設促進に向けた要望活動 など	日沿道の早期全線開通に向けて、両県境区間等のさらなる事業進展が望まれる。また、庄内空港は、運行便数の拡大や発着時間帯の見直しを望む声が多いことから、機材の充実と併せて引き続き要望していく必要がある。 高速交通網の整備については、引き続き地域間の連携を図りながら粘り強く要望活動を行っていく。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 地域公共交通推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 :		
○デマンドタクシーの運行日の拡大(土日運行) ○生活交通手段の確保に向けた検討	デマンドタクシーの運行については、利用者ニーズをもとに土日運行の開始や運行カレンダーの作成などの対応を行ったが、さらなる利用拡大につながるよう、運行事業者と調整しながら利用者の目線に立った拡充策を検討する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
73 道路舗装事業	建設環境課 建設係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 :		
○交通量が多く舗装路面の損傷が多い路線の計画的な舗装改修整備	舗装路面の亀裂・沈下等の経年劣化が進行していることから、道路舗装等の長寿命化・コストの縮減・予算の平準化を図るため、舗装長寿命化修繕計画に基づいた計画的な修繕が必要である。		

【事業】 74 側溝整備事業	【所管】 建設環境課 建設係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○道路冠水が発生する路線等に係る計画的な道路側溝の整備		【所見】 ： 異常気象等によりゲリラ豪雨が多発する傾向にあるため、浸水被害の多い箇所について、道路の側溝整備を進めるとともに、狹隘道路における側溝整備により道路幅員を確保し、安全で安心できる道路環境の改善に努めていく必要がある。
【事業】 75 道路安全施設整備事業	【所管】 建設環境課 建設係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○整備必要路線の検討及び計画的な施設整備		【所見】 ： 全国的に発生している通学路における重大事故を受けて、国においても通学路における交通安全対策については、重点課題として、実態調査を行っているところである。歩道や防護柵等の交通安全施設の整備については児童生徒の安全確保を図るため、積極的に取り組んでいく必要がある。
【事業】 76 橋梁長寿命化対策事業	【所管】 建設環境課 建設係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○橋梁長寿命化対策に係る点検、維持補修工事の計画的な実施		【所見】 ： 定期的な橋梁点検を通じて損傷状況の把握を行うとともに、老朽等橋梁について計画的な維持修繕工事を実施することにより、安全かつ円滑な交通を確保していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備		
施策	03 住宅の安全性や安定したライフラインの確保		
内容	【現状】 近年頻繁に発生する異常気象等による自然災害から、住民の生命と財産の保全を図り、開発行為、宅地造成等による地形変化に対応した社会資本施設の整備が必要となっている。その中でも、冬期間の交通確保については、早急な整備が必要である。		
	【課題】 冬期間における季節風の影響により、通行不能となる路線があるため、防雪施設については、計画的な整備が必要となっている。 また、昭和60年代に整備された施設については、歩行者に配慮した施設への改良や部材の劣化等に伴う施設の長寿命化を検討する必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
70 防雪対策事業	建設環境課 建設係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 :	
○計画的な防雪施設の整備		地吹雪が頻繁に発生する計画路線の早期整備を目指すとともに、整備後の維持管理コストも踏まえて取り組んでいく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 空き家対策支援事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 :	
○一定の所得以下の世帯に対する老朽危険空き家等解体撤去費用の一部補助 ○空き家バンク登録の促進		今後、増加する危険空き家の減少を推し進めるため、利活用可能な空き家の「空き家バンク」登録に向けた取り組み、老朽危険空き家等の解体促進事業の活用促進など早急に対応する必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取組】		【所見】 :	

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備		
施策	05 住宅の安全性や安定したライフラインの確保(下水特会)		
内容	【現状】 下水管路(汚水)整備は、既存住宅区域のほぼ全域で完了している。 なお、近年頻繁に発生する異常気象等による自然災害から、住民の生命と財産の保全を図るため、豪雨による浸水(雨水)被害の防止等を図るため、排水路・ポンプ場整備を早急に進める必要がある。		
	【課題】 下水管路(汚水)整備及び流域公共下水道の整備については、宅地開発の動向を注視しつつ、計画的な実施が不可欠である。また、排水ポンプ施設の整備は、赤川の河道掘削や月山ダムの洪水調整機能等も考慮し、その整備手法について、調査研究していく必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
04 下水道事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】	【所見】 ：		平成29年度に管路のストックマネジメント(点検・調査)計画を策定した。今後、引き続きマンホールポンプの点検調査計画及び管渠の修繕改築計画を策定する必要がある。
○浸水被害の発生する地域における雨水排水路設備等の整備 ○宅地開発区域等における汚水管の布設 ○歌枕排水機場雨水排水ポンプの更新 ○公営企業会計の適用に向けた検討 ○広域化に向けたスケジュールの検討			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：	
		【今後の方向性】 ：	
【取組】	【所見】 ：		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：	
		【今後の方向性】 ：	
【取組】	【所見】 ：		

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	18 防犯・防災・交通安全対策の充実	
施策	01 防犯対策の強化	
内容	【現状】 近年の犯罪は、凶悪化、巧妙化、広域化しており、町民生活にとって大きな脅威となっている。さらに、本町には大型ショッピングセンターがあり、交流人口が多いことから、街頭犯罪の防止を図るため、事業所や防犯協会、家庭、学校、町内会などと連携して、規範意識の確立や防犯意識の醸成、防犯施設の整備などを通して、地域における防犯活動を強化している。	
	【課題】 防犯灯のLED化などによる消費電力と維持管理経費の縮減について検討する必要がある。 また、本町には大型商業施設があり、交流人口が多いことから、引き続き各種防災関係機関・団体・企業等と連携を図りながら、犯罪抑止に努めていく必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
70 安全で明るい町づくり推進整備事業	総務課 危機管理係	B. 概ね達成できている
【取組】		【今後の方向性】 ：2. 現状維持
○防犯灯の設置・修繕 ○防犯灯のLED化の促進 ○各種啓発活動の実施		【所見】 ： 防犯灯の整備に関しては、全灯LED化したことで概ね目標を達成したところである。 防犯活動については、町内会、防犯協会等の関係団体の協力のもと、引き続き児童生徒への見守り活動や啓発活動を継続していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	18 防犯・防災・交通安全対策の充実		
施策	02 災害対応力の強化		
内容	【現状】 東日本大震災を契機に、地震や津波に対する災害に対する住民の意識が高まるなか、地域防災計画を見直し、津波・洪水ハザードマップを作成するなど、防災意識の高揚に努めている。		
	【課題】 津波や風水害対策を考慮した地域防災計画の見直しを早急に行う必要がある。また、地域防災計画等に基づき、地域防災力の向上を図る必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
70 常備消防事務委託事業	総務課 危機管理係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		常備消防・救急業務は町民の生命及び財産を守るために必要不可欠であり、今後も継続していく必要がある。
○鶴岡市との協議に基づく消防・救急等常備消防業務(事務)の委託			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
71 消防ポンプ整備事業	総務課 危機管理係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		消防ポンプ整備計画に基づき、年次的に整備を行っており、今後も継続していく必要がある。
○消防ポンプ整備計画に基づく年次的な機器の整備			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
72 自主防災組織育成助成事業	総務課 危機管理係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		平成30年度は、総合防災訓練事業(8月26日、荒天により中止)へ5組織が参加予定であったため数値的には大幅な減となったが、各組織の意識は総じて高い。今後は、財政的な支援と併せ、より実践的な訓練となるよう計画段階からの支援も積極的に実施するものとする。
○転入者に対する非常用持出袋の配布 ○災害訓練実践町内会助成金の交付			

【事業】 73 地域防災事業	【所管】 総務課 危機管理係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○災害時初動体制の整備 ○防災関係機関の協力体制の確立 ○避難所用備品の整備 ○三川町地域防災計画並びに三川町水防計画等の改定		【所見】 ： 地域防災計画の改定を踏まえ、更なる防災意識の向上を図る必要がある。 また、引き続き災害発生時に備えた計画的な備蓄を推進していく必要がある。
【事業】 80 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 総務課 総務係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○経済性、省エネ性、低メンテナンス性及び防災機能を重視した施設長寿命化改修計画の策定と実施		【所見】 ： 空調用熱源設備改修工事を実施した。引き続き計画的に庁舎の防災対策及び長寿命化対策を実施していく必要がある。
【事業】 81 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○基金造成による財源の確保、長寿命化対策としての年次計画的な大規模改修工事の実施 押切小：平成29年度～令和2年度（予定）		【所見】 ： 平成30年度学校施設改善交付金が不採択になったことから、先に交付金対象外の外構工事を実施した。平成30年度に策定した長寿命化計画に基づき、次年度以降の工事を実施していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	19 発展性の高い土地利用の推進	
施策	01 地域特性に応じた土地利用の推進	
内容	<p>【現状】 適正で秩序ある土地利用の推進を基本としながら、地理的条件の優位性や道路網等の社会基盤の整備を進めることにより、民間による商業集積や工業団地、産業団地の開発が進められてきた。 今後も土地利用の需要を把握しながら、適正な土地利用の推進を図る必要がある。</p> <p>【課題】 雇用の場の確保として開発を進めてきた「みかわ産業団地」については、計画区域内最後の区画の分譲が終了し、今後新たな工業団地、産業団地の開発のため、農用地との土地利用調整も含めた計画策定が求められる。 また、定住促進策として新たな住宅団地の開発を検討しており、排水対策の検討と併せて、具体的な開発手法を検討する必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 地域開発推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】	【所見】 :	
○地域開発を促進する社会資本整備に関する要望活動 ○民間開発の誘導と土地利用調整 ○企業誘致活動及び県企業誘致促進協議会への参加と情報の収集・提供	企業誘致を進めていくため、土地利用需要の動向を踏まえ、新たな工業団地、産業団地を開発していく必要があり、農用地との土地利用調整を含めた新たな計画の策定に向け取り組んでいく。 新たな住宅団地開発に係る課題や問題点を整理し、具体的な開発に向けた手法を検討していく。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】	【所見】 :	
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】	【所見】 :	

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	21 活力ある産業の育成	
施策	01 活力ある農業生産活動の育成と支援	
内容	<p>【現状】 米を主要農産物としている本町の農業は、米価の低迷等厳しい現状におかれており、農業者にとっては相対的な生産費が増加し、かつ国の大幅な政策変更もあって、今後の経営計画における将来ビジョンを描きにくい状況におかれている。 そういった中で、農業の生産性向上のため、各種事業を有効に活用しながら、農業経営に要する費用負担軽減を支援し、総合的な農業生産基盤を整備し、農業経営の安定に取り組んでいる状況である。</p> <p>【課題】 認定農業者をはじめ、農業経営者の高齢化、担い手不足などにより、農地の保全や多面的機能の発揮が求められている。 農作物は気象条件と市場性に左右されるものであり、収入の基幹をなす米価も年々低下するなど厳しい経営環境にある。 今後は集落における農地集積や担い手確保のための方向性を協議し、継続可能な農業・農村の経営方針を明らかにしていく必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
71 経営体育成支援事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○経営規模の拡大や経営の多角化に必要な機械・設備等整備への支援（事業費×3/10）		人・農地プランに位置づけられた中心経営体等の農業経営の発展・改善のための支援事業として、今後も有効な事業活用を図っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
72 流通対策事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○山形県青果物価格安定対策事業による野菜等価格低落に対する支援（品目：ねぎ、ストック、枝豆） ○山形県青果物価格安定対策事業の対象外の野菜等で、町で指定する野菜等価格低落に対する支援（品目：オクラ、インゲン、アスパラガス、椎茸、平茸、トルコキキョウ、シンビジウム）		野菜等の価格低迷に対して、生産農家の経営安定と町内の野菜等生産振興を図るため、セーフティネットとして継続実施していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C. あまり達成できていない
73 がんばる農家支援事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要
【取組】		【所見】 :
○意欲ある農業者の創意工夫や新たな取組を生かす支援の実施		農業者のやる気を喚起したり、創意工夫による新たな取組のきっかけ作りを支援するためにも、継続する必要がある。

【事業】 74 食のまちづくり推進事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校給食での「米粉」、「三川産の野菜」及び「つや姫」の利用に対する支援		【所見】 ： 子ども達の食育と地域農業に対する理解を深め、地産地消の推進を図るため、今後も継続して取組む必要がある。
【事業】 75 瑞穂の郷づくり事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町の特徴である大規模水田経営と有機等の米づくりのさらなる推進 ○米づくりに専心する「瑞穂の郷」づくりの推進		【所見】 ： 担い手への農地集積を推進し、大規模水田経営、生産コスト縮減、有機・特裁比率向上を図り、稲作の先進地域を目指すために引き続き事業を推進していく必要がある。
【事業】 77 国営造成施設管理体制整備促進事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○土地改良施設の適正な維持・管理に対する支援（実施主体：庄内赤川土地改良区）		【所見】 ： 土地改良施設の効果は広く地域住民に及ぶことから、その機能は維持強化していく必要がある。
【事業】 78 特産キラリ生産拡大支援事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○菜種（キラリボシ）栽培に対する栽培経費支援		【所見】 ： 生産者が増えることにより取組者同士の相互連携や意欲向上にもつながるため、今後も支援を継続する必要がある。
【事業】 79 経営改善支援活動事業	【所管】 農業委員会 農業委員会 総務係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○農業経営基盤強化資金利子に対する助成 ○認定農業者への支援		【所見】 ： 農業経営の一助である農業経営基盤強化資金については、認定農業者等の経営安定化や強化に資している。
【事業】 80 はっぴー米メモリアル事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町の特産品である米のPR ○町の一員となってくれた方に町の歓迎の意を表すことを目的にした出生・婚姻・転入等記念日における三川産米の贈呈		【所見】 ： 三川産米のPRと消費拡大、並びに人口増加のための政策は意義のあるものであり、今後も事業を推進していく必要がある。

【事業】 82 土地改良施設等整備事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○排水対策としての「二丁排水路」「二丁堀排水路」排水ポンプ設置への取り組み ○沖堰排水機場並びに青龍川に係る分水工の施設の維持・保全のための大規模改修		【所見】 ： 豪雨等による冠水等の被害を防止するため、排水施設機能強化及び長寿命化を図っていく必要がある。
【事業】 83 リーディングファーマーズ銀行事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○融資制度利用者への利子助成補助金の交付		【所見】 ： 農業経営の規模拡大や効率化を推進するうえで、農業者の経営判断並びに金融機関の審査を経て農業設備等を整備する農業者への導入・更新に対する支援を図っていく必要がある。
【事業】 84 多面的機能支払交付金事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○農地が有する多面的機能を発揮するための保全・管理活動に対する支援		【所見】 ： 地域の農地や農業用水路等の保全管理など農村環境を守るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に向け、今後も継続して推進していく必要がある。
【事業】 85 環境保全型農業直接支払交付金事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○環境保全に資する農業者の取組を交付金により支援		【所見】 ： 環境の維持・保全への関心が高まる中、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが重要となっており、継続した支援の必要がある。
【事業】 86 農産所得拡大支援事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○農産所得向上のために、施設園芸等に取組む者に対して支援		【所見】 ： 農業者の生産性の向上を支援することで、農業所得拡大を今後も継続して支援していく必要がある。
【事業】 89 産地パワーアップ事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○集出荷コスト低減のための施設整備等に対する支援 ○生産コスト低減に向けた農業機械等リース導入に対する支援		【所見】 ： 産地パワーアップ計画に示す生産コスト低減等による所得向上策を今後も実施していく必要がある。

【事業】 98 人・農地プラン推進事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○人・農地プランの見直しの推進 ○農業次世代人材投資資金（1年最大150万円）と機構集積協力金の交付		【所見】 ： それぞれの集落・地域において話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「人・農地プラン」（地域農業マスタープラン）を今後も継続して推進する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	21 活力ある産業の育成		
施策	02 魅力と成長力に富んだ商工業活動の振興		
内容	【現状】 全国的には緩やかながら回復基調にあるものの、地域経済への波及は限定的で、加えて燃料費をはじめとした原材料費の高止まり傾向が続くなど、依然として町内商工業者を取り巻く環境は厳しく、見通しは不透明な状況にある。 このような中、商工業者の経営基盤の強化と地域経済活性化のための施策が求められている。		
	【課題】 商工業者の経営基盤確立のため、出羽商工会による経営指導強化や円滑な資金調達のための金融対策を継続的に実施していく必要がある。 地域経済活性化のため、一層の需要（消費）拡大と新規事業開拓等に意欲的に取り組む事業者に対する支援が必要である。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： A. 達成できている	
06 地域おこし協力隊活動支援事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 ：		
○柔軟な発想や視点でのまちづくりに係る活動の支援 ○地域おこし協力隊の定住を図るための起業・就業の支援	地域の活性化と定住人口を増やすため、隊員の拡充と活動の支援をする必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： C. あまり達成できていない	
70 勤労者福祉対策支援事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 ：		
○勤労者生活安定資金の貸付	未組織勤労者等の企業等で働く勤労者に対するセーフティネットとして、引き続き労働金庫と連携し取り組む必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： A. 達成できている	
71 商工会活動促進補助事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】	【所見】 ：		
○出羽商工会の活動に対する補助金の交付	商工業者の経営基盤の強化のため、商工会による指導とともに特産品開発、観光振興のため継続して支援する必要がある。		

【事業】 72 小売店業者振興支援事業	【所管】 産業振興課 商工観光係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○プレミアム付商品券の発行事業に対する補助金支援 ○宅配サービス等を実施する事業者への補助金支援		【所見】 ： プレミアム付き商品券については、実施の有無も含めその時々的情勢を見ながら判断していく。 宅配サービスについては、免許証返納などで交通弱者が増えることを鑑み、継続して支援をしていく必要がある。
【事業】 73 商工業振興金融対策事業	【所管】 産業振興課 商工観光係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○経営資金の調達を支援するため、融資保証料の一部の補給支援		【所見】 ： 中小企業の資金調達に対する保証料負担の軽減支援は中小企業に対する商工振興のため、今後も持続的に取り組む必要がある。
【事業】 77 若者定着奨学金返還支援事業	【所管】 産業振興課 商工観光係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町内（県内）に戻り就業した若者に対する奨学金の返還支援		【所見】 ： 県と連携し、若者が地元に戻り就業することを促進するための取組みとして継続していく必要がある。
【事業】 78 「田からもの」逸品開発事業	【所管】 産業振興課 商工観光係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町の新たな特産品等開発への補助金支援 ○商品や事業所のPRに係る費用への補助金支援 ○三川町産米を利用した日本酒開発		【所見】 ： 今後も三川町をPRできる商品開発や、商品PRの支援を行っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	22 交流人口の拡大		
施策	01 交流基盤の再構築		
内容	【現状】 人口減少が進むなか、いろり火の里施設における交流の拡大や町観光協会主催の観光イベント及び人的ネットワーク等の活用により、地域活性化を図っている。		
	【課題】 本町の活性化及び町民所得の向上を図るには、観光振興は重要であり、みかわ振興公社や三川町観光協会を中心に、広域的な観点にたつて関係機関団体が連携した取り組みを計画的、かつ持続的に実施していく必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】： B. 概ね達成できている	
70 「いろり火の里」推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】： 3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】：		
○施設設備の維持更新等の大規模改修の実施 ○誘客対策の推進及び指定管理者に対する適正な指導 ○運営コストに対応できる使用料等の見直し	施設の老朽化に対応するために大規模改修を進め、魅力ある施設整備を図るとともに、指定管理者制度による集客を目指した運営を図っていく必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】：	
		【今後の方向性】：	
【取組】	【所見】：		
【事業】	【所管】	【評価結果】：	
		【今後の方向性】：	
【取組】	【所見】：		

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	22 交流人口の拡大		
施策	02 交流基盤の強化		
内容	【現状】 少子高齢化に加え、長引く景気低迷などにより地域経済の活力が低下しているなかで、各種交流活動を通じた地域の活性化が求められている。 特に、町観光協会を中心として多様化する観光ニーズに対応するとともに、地場産品の販路拡大などに努めている。 また、国際化社会に対応できる人材育成を目指し、マクミンビル市との中学生の国際交流を継続的に行っている。		
	【課題】 望郷みかわ会との交流活動を通じて、人的ネットワークの活用等を図っていく必要がある。 町観光協会と連携しながら交流人口の拡大を図り、町の産業振興に結び付けていく必要がある。 国際感覚を養い、広い視点を持つ人材の育成を推進していく必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
03 婚活推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 ：	
○婚活活動を進める支援事業の実施		県や近隣市町、やまがた出会いサポートセンター等と連携を図りながら広域的な取り組みを継続して展開していく。 また、婚活イベントを企画実施する団体等への支援を行っていくとともに、婚活事業の積極的な情報提供を行っていく。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
70 ふるさと会交流促進事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】		【所見】 ：	
○望郷みかわ会活動への支援		望郷みかわ会会員が減少しているため、会員が広く集まるよう支援をしていく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
71 観光対策事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】		【所見】 ：	
○三川町観光協会活動への支援		交流人口の拡大に繋がる魅力あるイベント実施や、交流人口の拡大による関係人口のつながりを深めていく必要がある。	

【事業】 72 国際交流推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている
【取組】 ○マクミンビル市生徒受入、派遣にかかる旅費等の支出 ○ホームステイ受入家庭及び派遣生徒の確保		【今後の方向性】 ：2. 現状維持 【所見】 ： 米国マクミンビル市との相互交流を基本に実施しており、今後も国際交流経験を活かし、グローバルな視点で物事を考えられる子どもたちを育成していくため、事業を継続する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	23 協働の推進		
施策	02 協働の推進		
内容	【現状】 人口減少・高齢化時代の到来にともない、これまで地域コミュニティが担ってきた活動が衰退し、行政ニーズの増加につながっていくことが予想される。自らの地域づくりや課題解決に向けた取り組みについては、行政がすべて支援するのではなく、地域住民が力を合わせて「協働」による取り組みを推進しながら、地域コミュニティの活性化に向けた支援体制を維持している。		
	【課題】 「協働」に対する意識醸成と取り組みの活性化を図るため、協働事業提案制度を活用しながら、自らからの地域課題解決に取り組む団体等を育てる必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
70 協働事業提案制度事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 ：	
○協働事業提案制度の活用促進 ○協働事業提案案件に対する支援		協働事業を実施する団体がまだまだ少ない現状を踏まえ、支援制度の積極的な周知に努め、町民の自主的な協働事業への参画を促していく。また、町民が活用しやすい制度にするため、要綱の見直しを行っていく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
71 地域づくり活動推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】		【所見】 ：	
○町内会に対する「自治振興交付金」の交付 ○コミュニティ活動支援員の派遣 ○移住定住の促進に対する取り組み		まちづくりのためには、地域の自主的な取り組みが不可欠であり、今後もその取り組みを支援していくため、町内会自治振興交付金の拡充やコミュニティ活動支援員の活用などに引き続き取り組んでいく。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
73 総合計画策定事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】		【所見】 ：	
○計画策定方針の決定 ○まちづくりアンケート調査の実施 ○計画策定委員会の委員募集		第3次三川町総合計画に掲げる取り組みを継承し発展させるといった基本的な考え方のもと、本町の現況と課題の把握、現行施策の検証を行うとともに、まちづくりに対する町民の声を十分反映させながら、長期的な展望を持って計画策定に取り組んでいく。	

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	24 行財政改革の推進	
施策	01 行政サービスの質的な向上	
内容	【現 状】 地方分権の進展及び多様化する行政ニーズに対応しながらも、交付税をはじめとした財源確保が厳しいなか行政運営を行っていくためには、人員適正化計画に伴う職員の適正配置をはかりつつ、行政事務の大幅な効率化を図っていく必要がある。	
	【課 題】 人員の適正化に伴い、人件費の抑制を図るためには、行政事務を効率的に運用し、なおかつ行政サービスの質的向上を図るために民間や専門業者への業務委託等を活用していく必要がある。	
【外部評価結果】	【所 見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 電子情報化推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取 組】		【所 見】 :
○CMSを活用したホームページの積極的なコンテンツ作成による情報発信 ○総合行政ネットワーク(LGWAN)の管理・運営 ○山形県・市町村セキュリティクラウドの利用によるセキュリティ強化		ホームページのほか、町民等がスマートフォンや携帯電話から情報を入手できるアプリ配信などにより、今後も正確かつタイムリーで魅力のある情報の発信に努めていく。
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : A. 達成できている
72 行政システム化推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取 組】		【所 見】 :
○電算処理業務の委託 ○事務システム運用支援業務の委託 ○行政事務システムの整備		システムのクラウド化及びネット環境に対するセキュリティソフトを導入したことにより、情報の安全性が確保されている。また、庄内町とのシステム共同利用によりコスト削減が図られている。 今後も引き続き情報システムのセキュリティ強化を行うとともに可能な限りコスト削減に努めていく。
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : A. 達成できている
74 戸籍システム推進事業	町民課 住民係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取 組】		【所 見】 :
○戸籍システムの整備・管理・運営 ○戸籍副本データ管理システムの整備 ○マイナンバー制度導入に向けての文字整備		迅速な謄抄本の交付が可能になり、住民サービスが向上した。関連戸籍が一括管理され、記載作業も効率化が図られ、かつ正確性が保たれている。戸籍副本データ管理システムにより、災害時におけるデータの安全性の確保も図られている。

【事業】 75 学校給食調理業務等委託事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている
【取組】 ○民間事業者への給食調理業務等の委託		【今後の方向性】 ：2. 現状維持 【所見】 ： 民間業者の専門的な技術と経験を活用するために学校給食調理業務等を委託している。「自校調理方式」により安全・安心な学校給食の提供を継続していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成30年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	24 行財政改革の推進	
施策	02 人材育成と組織・機構の見直し	
内容	【現状】 地方分権が進み、地方自治体に自己決定と自己責任に基づく自主自立の精神が強く求められ、職員には制度を画一的に執行する能力だけでなく、高い専門性と多様な住民ニーズに応え、行政課題を着実に解決する能力が求められている。	
	【課題】 今後ますます推し進められる地方分権に対応するためには、職員の資質の向上が不可欠であり、そのためには計画的に研修を積み重ねる必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
70 職員研修事業	総務課 総務係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○高度な研修の受講及び職員自ら企画する先進地視察研修が可能な体制を整備するとともに、研修を通じて得た着想や知識を広く職員へ提供する機会を確保する。		希望する職員への先進地視察及び研修機関による専門研修の受講機会を確保し、新たな計画策定等に資することができた。 当該事業の継続により、引き続き職員の資質向上に努めていく。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：